

## 浜田川総合開発事業（第二浜田ダム建設、浜田ダム再開発）

### 浜田ダム再開発工事に着手しました！

現在の浜田ダムは昭和38年に完成し、これまでに幾度となく洪水調節を行い、昨年夏の豪雨においても、浜田市中心部など沿川の洪水被害を最小限に防いだところです。

しかし、県西部に未曾有の大災害をもたらした昭和58年、昭和63年の洪水は、現浜田ダムの計画を大幅に上回るものであったため、現浜田ダムを改造し、現在下流に建設中の第二浜田ダムと一体となって洪水調節を行うこととしました。

改造工事は浜田ダムのゲートを撤去し、ゲートの開閉による洪水調節方式からゲート操作のない自然調節方式に変更するもので、平成26年3月に発注しました。

今年度から工事に着手し、貯水池内底泥の浚渫、減勢工の改造、ゲート撤去、放流管の改造など順次工事を進めていく予定ですが、運用中のダムであり、出水期間中は工事に制約があるため、完成は平成31年度末で6年にわたる工事となっています。



現在の浜田ダム



浜田ダム再開発完成予想図

### 浜田ダム再開発工事安全祈願祭

工事の着工にあたり、平成26年5月12日に浜田ダム管理所において、安全に工事が進められることを祈願するため、島根県（浜田ダム管理所、浜田河川総合開発事務所）と施工業者の約20名が参加して安全祈願祭をとりおこないました。

### 安全祈願祭の様子



## 第二浜田ダム、鞍部ダムの基礎地盤の補強工事を行っています

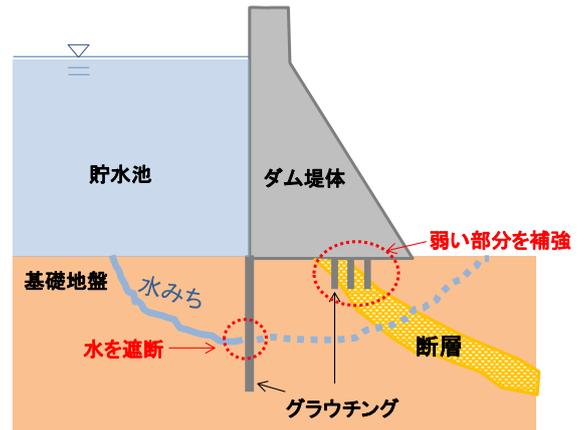
第二浜田ダム本体建設工事においては、ダムの堤体は出来上がりましたが、ダムに水を貯めるには、堤体を支える基礎地盤が強固であること、貯めた水を漏らさないことが必要です。そのため、基礎地盤の補強と、水みちを塞ぐことを目的としたグラウチング工事を行っています。

具体的には、ボーリングマシンで地中に孔を掘り、グラウト材（セメントと水を混ぜたもの）を注入する作業を行います。グラウト材が地中の亀裂に入り込むことによって、地盤が補強され、水みちがふさがります。

堤体のコンクリート打設と比べると、目に見えない工事ですが、重要な工事ですので、入念に施工を行っています。



グラウチングの施工範囲（赤囲い部分）



グラウチングによる効果の例

## 職員の紹介

平成 26 年度は右図の組織体制により、計 27 名で引き続き 4 ダム（第二浜田ダム、浜田ダム再開発、波積ダム、矢原川ダム）の事業を担当していきます。

今年度もよろしくお願ひします。



お問い合わせ先

安心して暮らせる地域のために！ 島根県浜田河川総合開発事務所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町 254 島根県浜田合同庁舎 5F

TEL 0855-29-5760 FAX 0855-29-5772

<http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/>

メールアドレス: hamadakasen@pref.shimane.lg.jp